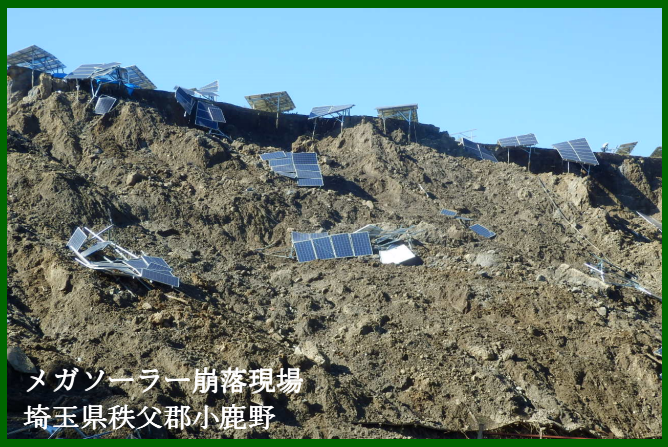
ー全国各地ー

国内外の投資家による利益最優先のメガソーラーや大規模風力発電が豊かな自然や住民生活を破壊しています



温暖化防止　**国土・水源保全**　**住民の安全**　**生物多様性**

自然の乱開発を規制し、持続可能な再エネ政策を！


メガソーラー崩落現場
埼玉県秩父郡小鹿野

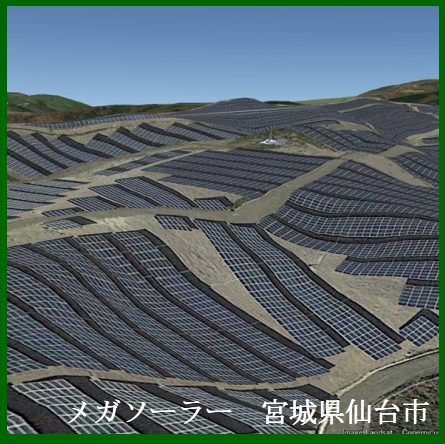
二酸化炭素吸収源とされる森林を大規模に伐採していては、温暖化は防げません。

このまま森林伐採などの乱開発を許せば、広大な面積で自然生態系が破壊され、水源の森は失われ、土砂災害が多発し、国土はずたずたになり、地域住民の安全安心な生活が奪われます。

再生可能エネルギーは、都市の駐車場やビルの屋上など自然を破壊しない場所で行うべきで、至急関係法令の改正を求めます。

利益最優先の事業者の違法・杜撰な開発が横行し、斜面の崩落事故も各地で発生しています。FIT法、森林法、環境アセス法等の改正が必要です。


尾根筋風力発電
山口県白滝山


メガソーラー　宮城県仙台市

全国再エネ問題連絡会

事務局（日本熊森協会内）

〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4

電話：0798ー２２ー４１９０

衆議院議長様　参議院議長様

内閣総理大臣様　国土交通大臣様　経済産業大臣様　環境大臣様　農林水産大臣様

豊かな自然や地域の生活を破壊する再生可能エネルギー開発に規制をかけてください

＜CO2の吸収源を破壊する再生可能エネルギー開発は温暖化防止対策になりません＞

固定価格買取制度により、再生可能エネルギー事業（以下、再エネ事業）が儲かるビジネスになったため、国内外の投資家が巨額の利益を狙って参入し、安価で取得しやすい奥地の水源の森や豊かな自然環境を破壊し、メガソーラーや大規模風力発電開発を乱立させています。しかし、温暖化対策であるはずの事業が、CO2の吸収源である森林を大規模に伐採するのでは、本末転倒です。山地での乱開発は、水源の枯渇や土砂災害の発生の要因ともなり、地域住民の安全安心な生活を脅かし、野生動物たちの最後に残された生息地を破壊し、生物多様性の喪失にもつながります。

＜豊かな自然や住民生活の保全と調和する再エネ事業を、住民の理解と関与のもと進める仕組みを＞

再エネ事業は、本来、電力消費地に近い場所や、すでに自然が失われてしまっている平地で原則行われるべきです。また、予期せぬ事故や老朽化後の施設撤去まで、責任をもって対応できる事業者にのみ実施を認めるべきで、地域住民の十分な理解と関与を大前提とすべきです。再エネ賦課金という形で毎月多額のお金を国民に負担させている以上、投資家が暴利を得るためではなく、本当に持続可能な次世代に誇れる事業が展開されるべきです。このまま乱開発が進めば、日本の豊かな自然は失われ、災害が多発する事態となり、総合的に国益を失います。至急、関係法令の改正を求めます。

＜要望事項＞

1　CO2の吸収源である緑豊かな自然を破壊し地域住民の安全安心な生活を脅かす再エネ事業が進まないように、ゾーニング等の法整備を至急お願いします。
2　利益最優先で事業が進む原因となっているFIT法の認定要件、森林法、温暖化対策推進法等の関係法令を至急、見直してください。
3　違法行為等をした事業者に対し、FIT認定の取消し等、厳格な取り締まりを行ってください。
4　賦課金を負担する国民に、再エネ事業の計画当初からの情報公開を徹底してください。

	名　前	住　所　（都道府県から）
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

呼びかけ団体：全国再エネ問題連絡会（日本熊森協会内に事務局）取扱い個人名又は団体名（　　）

署名用紙送付先　〒662-0042　兵庫県西宮市分銅町1-4 日本熊森協会　Tel：0798-22-4190　作成日2021/9/16
E-mail：saiene@kumamori.org　ネットでの署名も行っておりますので、どちらかを選択してください。

※署名はコピーではなく必ず原本を郵送でお送りください。お預かりした個人情報は、他の目的には使用しません。

第一集約　１０月末日